

令和6年度 第2回学校振り返りアンケート集計結果

平素は、本校教育推進のためにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本校の教育活動をより充実させるため、今年度の学校生活などについて、児童・保護者を対象にしたアンケートを実施しました。お忙しい中ご協力頂き、ありがとうございました。結果をまとめましたので、お知らせいたします。今子どもたちの学校生活をよりよいものにするため、次年度の活動に生かしていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

【児童】

	よく出来て いる	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来て いない	わからない
授業中、学習がよくわかること 《上段：前期》 《下段：後期》	50.4%	42.8%	5.2%	0.8%	0.8%
	54.9%	39.7%	4.3%	0.7%	0.4%
最後まであきらめず、学習に取り組むこと	51.2%	39.5%	7.7%	1.2%	0.4%
	56.3%	36.1%	6.1%	1.1%	0.4%
授業中、しっかり相手に話をするこゝ	47.6%	34.3%	13.7%	2.4%	2.0%
	49.8%	36.1%	11.9%	1.1%	1.1%
授業中、しっかり相手の話をきくこと	52.0%	40.4%	5.2%	2.0%	0.4%
	59.6%	32.5%	5.8%	1.1%	1.1%
学習の中で、PC やタブレットを使うこと	63.3%	29.5%	4.4%	1.6%	1.2%
	72.9%	20.6%	3.6%	2.2%	0.7%
毎日決まった時間（長さ）に家庭学習をすること	39.5%	32.3%	17.3%	7.3%	3.6%
	50.2%	27.1%	13.0%	7.6%	2.2%
家で予習、復習、宿題をすること	52.4%	34.7%	8.9%	3.6%	0.4%
	53.1%	30.7%	9.4%	4.7%	2.2%
時間を見つけ、進んで本を読むこと	47.6%	25.0%	16.1%	9.7%	1.6%
	50.2%	24.9%	16.2%	6.1%	2.5%
次の日の準備を忘れずにすること	58.5%	33.9%	5.2%	1.2%	1.2%
	60.6%	26.7%	8.7%	2.5%	1.4%
進んで「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」 が言えること	60.1%	26.2%	9.7%	3.2%	0.8%
	60.6%	27.4%	7.2%	2.9%	1.8%
進んでそうじをすること	58.5%	29.8%	9.3%	2.4%	0.0%
	63.9%	30.0%	3.6%	1.8%	0.7%
トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること	58.1%	32.6%	7.3%	1.6%	0.4%
	57.4%	32.5%	5.8%	2.9%	1.4%
早寝・早起きなど、規則正しい生活をするこゝ	40.7%	39.1%	10.9%	8.1%	1.2%
	45.1%	33.6%	13.4%	4.0%	4.0%
学校や学級のきまりや約束が守れること	46.4%	43.5%	7.7%	1.2%	1.2%
	57.8%	34.3%	5.4%	1.1%	1.4%
学校や学級での生活が楽しいこと	64.2%	26.2%	5.2%	2.8%	1.6%
	71.8%	22.7%	2.2%	0.4%	2.9%
友だちとなかよくすること	75.0%	19.8%	2.8%	2.0%	0.4%
	79.8%	18.1%	0.4%	0.7%	1.1%
PTA 行事や地域の行事に進んで参加すること	31.0%	30.6%	13.0%	10.1%	15.3%
	36.5%	26.7%	15.2%	8.3%	13.4%
学校であつたことを家で話すこと	52.0%	31.0%	7.3%	7.3%	2.4%
	56.0%	25.6%	9.0%	7.2%	2.2%

【保護者】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
子どもにとって授業がよくわかること 《上段:前期》 《下段:後期》	19.4%	60.4%	13.8%	1.8%	4.6%
	12.4%	70.5%	11.1%	1.8%	4.1%
子どもが何事にも粘り強く取り組めること	17.5%	62.6%	16.6%	0.5%	2.8%
	12.4%	61.8%	20.7%	2.3%	2.8%
子どもに基礎学力が身に付いていること	18.4%	56.3%	18.4%	2.3%	4.6%
	12.0%	62.7%	20.3%	1.8%	3.2%
子どもにとって、学習の中でPC・タブレットなどのICT 機器を使うこと	22.6%	45.6%	11.5%	3.7%	16.6%
	14.3%	51.2%	12.4%	1.4%	20.7%
子どもに家庭学習(学年×10分)の習慣が身に付いていること	18.0%	37.8%	34.5%	8.8%	0.9%
	14.3%	45.6%	31.3%	8.3%	0.5%
子どもに読書をする習慣が身に付いていること	13.8%	25.3%	39.2%	19.4%	2.3%
	14.3%	23.5%	40.6%	20.7%	0.9%
子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること	26.3%	54.8%	16.1%	2.3%	0.5%
	20.3%	59.4%	16.6%	2.8%	0.9%
子どもが身の回りの整理・整頓や掃除を進んですること	12.0%	41.0%	36.8%	9.7%	0.5%
	8.8%	35.9%	42.4%	12.9%	0.0%
子どもが履き物を自分でそろえること	11.5%	38.2%	40.1%	9.7%	0.5%
	11.1%	33.2%	39.2%	16.1%	0.5%
子どもが学校に楽しく通うこと	46.1%	48.3%	2.8%	1.4%	1.4%
	33.5%	58.5%	3.2%	2.3%	0.5%
子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を身に付けていること	37.3%	47.0%	13.4%	2.3%	0.0%
	27.2%	47.9%	21.2%	3.2%	0.5%
子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと	35.5%	57.2%	5.5%	0.0%	1.8%
	25.3%	62.7%	6.0%	1.4%	4.6%
学校が子ども一人一人を大切にしたい取組を行っていること	26.6%	55.8%	6.0%	0.5%	11.1%
	23.5%	66.4%	5.5%	1.8%	2.8%
学校が、教育方針や教育活動の状況をわかりやすく伝えること	16.1%	61.8%	12.9%	0.9%	8.3%
	17.1%	62.7%	7.4%	1.4%	11.5%
学校が家庭・地域と連携し、「地域総ぐるみ」の教育を推進すること	17.5%	55.8%	12.9%	1.4%	12.4%
	12.9%	64.1%	13.8%	1.4%	7.8%
PTA活動・地域活動が積極的に行われること	18.0%	60.8%	10.1%	0%	11.1%
	13.4%	59.0%	10.1%	1.8%	15.7%
子どもが地域行事やPTA行事に参加すること	9.7%	50.6%	19.4%	12.0%	8.3%
	13.4%	61.3%	9.2%	2.8%	13.4%
保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること	30.0%	60.3%	5.1%	3.2%	1.4%
	11.5%	51.2%	20.7%	8.8%	7.8%
子どもが、学校であったことを家で話すこと	28.1%	54.9%	13.8%	3.2%	0.0%
	18.9%	65.4%	13.8%	0.9%	0.9%

今年度の学校教育目標「夢に向かって 自ら考え 行動し 最後までやり遂げる子を育てる」、育成を目指す資質・能力「思いを言葉にする力」「自己指導能力」を基に、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成の3つのアクションプランを視点にして、考察を行いました。

＜考 察＞

《確かな学力の育成》

児童に対する質問『授業中、学習がわかること』について、前期アンケート結果と比較すると、「よく出来ている」との回答が約55%と4.5ポイント上がっています。さらに「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせて約95%の児童が肯定的な回答をしています。「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせると全体としては1.4ポイントの上昇にとどまっていますが、『最後まであきらめず、学習に取り組むこと』『授業中、しっかり相手に話をすること』『授業中、しっかり相手の話をきくこと』についても、肯定的な回答をする児童が増えてきていることに着目したいものです。しかし、保護者の回答である『子どもにとって授業がよくわかること』については「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせた肯定的な回答が3.1ポイント上がって約83%であるのに対して、『子どもが何事にも粘り強く取り組めること』については「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせた肯定的な回答は5.9ポイント下がっています。児童の自己評価が厳しいのでしょうか。

家庭学習の習慣についての項目でも、前期アンケート結果と比較すると、児童は4.5ポイント上がって約77%、保護者は4.1ポイント上がって約60%が「よく出来ている」「できている」と回答しています。

これらの結果から、総合的に考えると学校でも家庭でも学習に対する意欲は、向上していると推察できます。

今年度、育成したい資質・能力として「思いを言葉にする力」「自己指導能力」を大切にして取組を進めています。授業の中では、自分の思いを言葉にしようとすることで、課題に対して自分の考えをもつことができたり、違った角度で思考ができるようにしたりしています。また、自分の思いをペアやグループなどで話す場面を設ける中で、児童は理解が深まり、多くの気づきを得ることができています。今後、ますます児童が主体的に学習を進められるような取組を進めていきたいと思います。ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、「学習の中で、PCやタブレットを使うこと」に対する児童の肯定的な回答が9.6ポイント上がって、約73%になっているように、様々な場面においてICT機器等を活用することもどんどん児童はできるようになってきています。日々の学習では、ロイノートで課題の提出や友達との交流をしたり、インターネットで調べたり、記録のために写真を撮ったり、音楽や外国語の活動を撮影したりと、児童の活動の幅を広げています。また、授業の中などでデジタルドリル「ミライシード」に取り組み、学習内容の定着にも活用しています。今後も追究意欲を駆り立てる課題設定を行い、児童の思いが高められるような授業づくりを進めていきます。生成AIも身近になり、ますます多様化するネット環境の中でも、児童が正しい判断し、ICT機器を主体的に学習にするためのツールとして活用できるよう、保護者の皆様と連携をとりながら、よりICT機器の発展に応じた情報モラル教育を進められればと考えています。

《豊かな心の育成・健やかな体の育成》

児童に対する質問『学校や学校での生活が楽しいこと』については、前期アンケート結果と比較すると、4.1ポイント上がって、「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせて約95%の児童が肯定的な回答をしています。また、『友だちとなかよくすること』については、3.1ポイント上がって、児童の約98%が「よく出来ている」「だいたい出来ている」という肯定的な回答をしています。

しかし、保護者に対する質問『子どもが楽しく学校に通うこと』について、前期アンケート結果と比較すると、「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせた回答が2.4ポイント下がっています。

『子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと』については、4.7ポイント下がって約88%の保護者が肯定的な回答をしています。

前期アンケート結果と比較すると、児童の「わからない」という回答のポイントが上がってきていることが気にかかります。この点に関しては、児童に気持ちを聴くなどして現状を把握し、今後、児童一人一人が

自己を見つめ、自己有用感や自己肯定感が向上できるように努めたいと思います。

また、児童一人一人が集団生活のルールを身につけ、集団活動の楽しさを実感できる学習や活動の充実を継続していきます。様々な集団活動や体験活動、行事などを通して、人のために役立つことや多様な人々と共生することの大切さを実感できるよう、次年度も、日々の学習を通して、互いのよさを認め合える関係作りを広げていきたいと考えています。相手の立場を考えてながら互いを尊重して協働したり、様々な人々とのつながりを実感したりすることのできる機会をもてるように工夫していきたいです。

《 学校・家庭・地域の連携 》

前期アンケート結果と比較すると、児童に対する項目『学校であったことを家で話すこと』では約82%と1.4ポイント下がっていました。しかし、保護者に対する項目『子どもが、学校であったことを家で話すこと』では約84%で1.3ポイント上がっています。学年が上がるほど、成長過程の中でなかなか自分の思いを素直に伝えられなかったり、児童自身のしたいことが優先されてしまったりすることもあるかと思います。

今後も、家庭でも児童の話に耳を傾ける時間を設け、学校であったことを聴いていただくようにお願いします。保護者の皆様へのお知らせ等の仕方が少しずつ変化する中ではありますが、学校だよりや学級だより、ホームページ、『すぐーる』などを活用して、児童の学習や学校での活動の情報をこれからも発信していきたいと思います。

本年度から導入された『すぐーる』での児童の欠席・遅刻の連絡等、保護者の皆様のご理解・ご協力ありがとうございます。今後も、児童の健やかに成長するのを保護者・学校・地域で見守っていききたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

【 学校運営協議会理事会の皆様からご意見をいただきました。】

- ・「姿勢」が悪い児童が多い。スポーツフェスティバルを参観したが、しっかりした体幹をつくらなければと感じた。
- ・授業中、集中できないと姿勢も崩れる。授業中に集中できる時間を増やすために、背筋を伸ばすなどの時間を取り入れてはどうか。
- ・話す力はこの1年間見ても力がついてきたように感じる。
- ・自分の気持ちが言えるようになってきている。また、自分がこうしてほしい等の要望も言えるようになってきた。しかし、言うだけに終わってしまい、相手の気持ちを聞くことについては課題がある。
- ・自分の意見を通すことも大事だが、まずは聞くことから始まる。大人も同じだと思う。
- ・保護者の方も忙しいと思うが、子どもとの会話が少しでも増えたらいいと思う。
- ・大人が入りながら子どもたちの思いのキャッチボールをしていくことも大切。そうする中で児童に「思いを言葉にする力」が身についていく。



本校では、児童・保護者・地域の皆様の願いを受け止め、学校改善を図ることを目的に、これからも学校評価を計画的に実施していきます。その結果を分析・考察し、よりよい学校づくりに役立てて参ります。アンケートのご協力、誠にありがとうございました。